

各 位

## 指宿市山川地域における海洋環境保全事業の実施によるSDGsの推進について

～山川町漁協・鹿児島相互信用金庫・コスモス幼稚園の三者連携で実施～

山川町漁業協同組合（指宿市、代表理事組合長：河野勝人、以下「山川町漁協」）、鹿児島相互信用金庫（本店：鹿児島市、理事長：永倉悦雄、以下「そうしん」）及び学校法人池水学園認定こども園コスモス幼稚園・こすもす保育園（指宿市、理事長：池水明彦、以下「コスモス幼稚園」）は、指宿市山川地域において、海洋資源の保全や地球温暖化の抑制などに貢献することを目指して、下記のとおり三者で協働してアマモの育成・藻場保全といった海洋環境の保全事業（以下「本事業」と言います）を行うことといたしましたのでお知らせします。

三者は、本事業の実施を通じて「地球温暖化対策」や「海の豊かさを守る」等のSDGs推進に努めるとともに、地域の大切な環境を地域自身で守る意識の普及に取り組んでまいります。

### 記

#### 1. 本事業について

##### (1) 概要

本事業は、山川町漁協が収穫・選別したアマモの種子を、そうしん及びコスモス幼稚園がお預かりし、種まき・苗床づくりを行い、協働してアマモの苗を育成するものです。

育成したアマモの苗は、指宿市山川地域の海に植え付けを行い、藻場保全を目指します。

三者の役割は以下のとおりです。

- ① 山川町漁協は、「アマモ」種子を採取、選別、保存し、本事業実施に向けた準備を行う。
- ② 山川町漁協は、10月上旬を目途に、そうしん及びコスモス幼稚園にアマモの種子を提供する。
- ③ コスモス幼稚園は、藻場再生に取り組む山川町漁協組合員の指導を受けながら、年長組によるアマモの種まき・苗床づくり事業を開催する（詳細後述）。
- ④ そうしんは、指宿支店においてアマモの種まき等を行い、ロビーにて苗を育成するとともに、山川地域のお取引先事業所へ本事業参加の声かけを行い、地域で連携して本事業を実施する。
- ⑤ 山川町漁協は、そうしん、お取引先事業所、コスモス幼稚園が苗床で育成したアマモを回収。11月下旬に三者が協働で山川地域の海（場所は検討中）に移植し藻場保全を行う。

##### (2) 事業実施の経緯

山川町漁協は、以前からアマモの育成や植え付けを通じた藻場の保全に取り組んできましたが、藻場保全の取り組みを地域全体に広げて活動を展開することを目指して、同じ協同組織金融機関である「そうしん」に本事業の協働を呼びかけました。

相談を受けたそうしん指宿支店は、「そうしん地域おこし研究所<sup>1</sup>」とともに、地域で持続可能な活動とするため、各主体が無理なく続けられる仕組みとして本事業を研究・実装しました。

---

<sup>1</sup> そうしん地域おこし研究所の概要やこれまでの取り組みは、別添の参考資料「各主体の取り組み」参照

また、地域の未来を担う子どもたちにこそ、山川地域の海の豊かさを知ってもらおうと、コスモス幼稚園に協力を要請。快諾いただいた結果、三者協働で本事業を実施する運びとなりました。

### (3) コスモス幼稚園での活動について

① 実施日時	2022（令和4）年10月6日（木）午前11時～12時（予定）
② 実施場所	学校法人池水学園認定こども園コスモス幼稚園・こすもす保育園「コスモス幼稚園」（〒891-0403 鹿児島県指宿市十二町2338-5）
③ 事業概要	山川町漁協による園児向け講演、種まき・苗づくり体験、その他
④ その他	園児たちは、「種まき・苗づくり」を行ったアマモの苗の植え付け事業（11月下旬を予定）にも参加する予定です。

## 2. 本事業の実施を通じて目指すこと

アマモの藻場は、「多くの水生生物の生活を支え（中略）る以外にも、水中の有機物を分解し（中略）、酸素を供給するなど海水の浄化に大きな役割を果たす」<sup>2</sup>とされています。

またブルーカーボン生態系（後述）を構築し、地球温暖化抑制にも貢献しています。

一方で水質悪化や埋め立て、磯焼け等の要因により、藻場は減少が進んでいます。

本事業は、藻場の重要性を地域の人々が広く認識し、地域と一体となって育成に取り組むことで、故郷の海の豊かさを守り、地球温暖化の抑制に貢献するSDGs意識の醸成を目指していきます。

事業の展開を通じて三者は、それぞれ次の目標の達成を目指します。

山川町漁協	アマモ藻場の育成による海洋資源の保全、未来に繋がる漁場の維持
そうしん	SDGs宣言「地域の各主体とのパートナーシップの下、SDGsの普及に努める」の達成
コスモス幼稚園	SDGs教育を通じた幼少期の情操教育や環境保全に対する意識の醸成・教育

## 3. アマモ藻場保全の果たす役割（ブルーカーボン生態系）について

2009年10月に国連環境計画の報告書において、藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれた炭素が「ブルーカーボン」と命名され、吸収源対策の新しい選択肢として提示。ブルーカーボンを隔離・貯留する海洋生態系として、海草藻場、海藻藻場、湿地・干潟、マングローブ林が挙げられ、これらは「ブルーカーボン生態系」と呼ばれます<sup>3</sup>。

アマモ藻場は、生物多様性の維持、海水の浄化といった役割に加え、近年では上述のブルーカーボン生態系としての重要性も着目されてきています。

以上

<sup>2</sup> 水産庁 HP「藻場の働きと現状」（2022年9月アクセス）より抜粋

<sup>3</sup> 国土交通省 HP「ブルーカーボンとは」（2022年9月アクセス）より抜粋

各主体の取組み

1. 鹿児島相互信用金庫（そうしん地域おこし研究所）について

鹿児島相互信用金庫は、2017年8月に「そうしん地域おこし研究所」を設立。慶應義塾大学 SFC 研究所の助言のもと、信用金庫らしい、地域創生の先進的な取組みを研究・開発することを目的に活動しています。これまでに、「奨学プログラム」や、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム、西之表市「地域創生コラボ免許合宿プログラム」等を実施してきました。

また 2018 年に信用金庫として全国初となる「そうしんSDGs 宣言」を発表。地域の社会・経済・環境課題の解決に取り組み持続可能な地域社会の実現を目指すことや、地域の各主体とのパートナーシップの下での SDGs の普及に努めることを宣言しています。



2. 学校法人池水学園 認定こども園 コスモス幼稚園・こすもす保育園について

当学園では、以下のように

1. 大自然の中での総合教育と自然体感教育
2. 外国人留学生を受け入れることによる国際人教育
3. 日本太鼓（和太鼓）の指導による日本の伝統教育

といった特色ある保育を展開しています。

「思いやりにあふれ精神的にも肉体的にも逞しい人格」という「子ども像」を目標に掲げ、集団生活、大自然に恵まれた環境の中での基本的な生活習慣（躰）、色々な体験（遊び）の提供等を通じて、創造的な活力と思いやりにあふれる子どもを育てる幼稚園の運営を行っています。



3. 山川町漁業協同組合について

指宿市山川漁港を中核とする漁業協同組合。山川漁港は鹿児島湾口に位置し、古くから天然の良港として栄えている。中でも、本県の基幹産業の一つであるかつお節製造業においては、枕崎漁港と並ぶ県下二大産地を形成している。

同漁協は、巻き網漁業や養殖漁業者が所属しており、鹿児島県漁業でも重要な地位を占めているのはもちろん、鯉節やカンパチのブランド化、餌やり体験や繁殖保護事業・アマモ藻場の再生活動など、海洋資源の保全や漁業知識の普及などにも積極的に取り組んでいる。

